

No.139

2015

4



学院だより

〈筑波学院大学〉



セグウェイと共にパトロール出発

〈東京家政学院大学〉



「森のようちえん」で芝滑りをして楽しむ  
子どもたちと児童学科の学生たち

〈東京家政学院中学校・高等学校〉



「eポートフォリオ」振り返りを入力する生徒

〈東京家政学院中学校・高等学校〉



合唱祭 高校1年C組

## 目次

- 東京家政学院大学…………… 1～4P
- 入試日程…………… 5P
- 筑波学院大学…………… 6～9P
- 入試日程…………… 10P
- 東京家政学院中学校・高等学校… 11～12P
- 学校法人東京家政学院…………… 13～14P
- 社会のなかで、研究室紹介…………… 15P

発行 学校法人 東京家政学院

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

Tel. 03-3262-2251 (代表) Fax. 03-3262-2174

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>



# 東京家政学院大学

TOKYO KASEIGAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス  
〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 番地  
TEL : 042-782-9811 (代)  
千代田三番町キャンパス  
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地  
TEL : 03-3262-2257 (代)  
URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>

## 新しい『私』を創り上げて下さい



東京家政学院大学  
学長 廣江 彰

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。大学の新しい春が始まります。春は「希望の」季節。日々日差しが優しくなり、木々も芽生え始めます。春をよるこぶ私たちの感情は、万葉の昔「山石はしる、垂水の上の、さわらびの、萌え出づる春になりにけるかも」(志貴皇子)とうたわれました。私たちも、厚いコートを脱ぎ、「さわらび(ワラビ)」とはいわなくても、咲き始めた花々を、軽い足取りで大学へ向かう道々に見つけます。

春は「何かが始まる」季節。みなさんにとって、高校とは大きく違う環境で、大学生としての異質な毎日が始まります。もっとも大きな違い。それは「自由」だということです。たとえば授業。大学では「授業科目」と呼びますが、どの科目を取る(履修する)かは学科毎の履修ルールの下、みなさんの自由です。東京家政学院大学の多様な多彩な科目領域(基礎科目・専門科目・資格科目)から、みなさんが自分で考え、自分で選択するわけです。登・下校時刻も全員一斉ではありません。授業科目などに関連させ、自分で決めることとなります。

## 平成27年度 学友会会長挨拶



東京家政学院大学  
学友会会長  
中込 友実

しかし、みなさんは大学生になり「自由」を得たと同時に、自分で決めるという「迷い」を抱えます。決めてくれる「誰か」はいません。でも、その「迷い」が、みなさんにとって何のために「今」という時代に生きるかの解を見つける大きなカギとなります。自由であり、また迷うこと、それが大学生の特権かも知れません。今から、みなさんの「新しい『私』」が始まります。みなさんへの社会の期待を、加藤ミリヤの歌になぞらえると、「私は君で生きてた」という「君」になることです。新しい「私」を創ること。東京家政学院大学は、みなさんを全力で応援します。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる4年間の大学生活はきつと様々な人と出会い、様々な経験を経ることができると思います。そして、その全てが自分を成長させてくれるチャンスです。たくさんの方に挑戦する気持ちを大切にしたいと思えます。これから過ごす4年間が素敵な大学生活になることを祈っています。

## 附属図書館ラーニングコモンズについて

附属図書館では平成26年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業補助金を活用し、町田キャンパスの大江記念図書館にラーニングコモンズを新たに設置する計画を進めています(平成27年2月12日現在)。ラーニングコモンズとは学生に様々な情報資源から得られる情報を用いて、議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するものです。本学では建学の精神(KVA精神)をふまえ、学生一人ひとりと丁寧に向き合い、「卒業成長値」を高める教育を目指していますが、今回はそうした本学ならではのラーニングコモンズをテーマに設置します。具体的には1階に①グループワーク・スペース(学生が相互に刺激しあいたい学修意欲を高める)②ラーニングサポートスペース(学生の個性や個々の状況に応じた学修支援)③コモンギャラ

## 高齢者デイケアサービスに参加して



トーナメント表と笑顔の優勝メンバー

1 G A 栗林奈緒)でした。優勝賞品のTシャツを手に、メンバーたちの笑顔が弾けました。

人間福祉学科1年生を中心に平成26年10月から12月にかけて「株式会社ばかばかライフケア」さんにて地域連携活動を行いました。具体的にはスマートフォンを一緒に使用し、世界を広げて頂くというものでした。ご利用者の個性、要望等に合わせた臨機応変性が求められ、学生たちは対人援助の難しさと楽しさを学んだようです。人生の先輩との世代間交流を通じて、学生自身の高齢者へのイメージも大きく変化しました。

## 球技大会 (千代田三番町キャンパス)



雨の大学裏山を探検!



焚火でマッシュマロを焼いて食べました。

学友会が主催する行事の中でも、学生たちに特に人気の高い「球技大会」が、今年も種目はドッジボールで行われました。エントリーしたのは1年生から4年生までの全11チーム。12月と寒い時期にも関わらず、会場のアリーナでは熱戦が繰り広げられました。



施設でのレクリエーション

施設でのレクリエーション



完成イメージ図

完成イメージ図

## 平成27年度 KVA 祭実行委員会委員の紹介

### 町田キャンパス幹部

大関 志保	3DB	船橋 麗衣	3DC
小林 美千代	3DB	佐々木 綾七	3PA
須永 鳴海	3DC	菊池 くるみ	3SW
早川 優里	3DC	小林 和恵	3SW

### 千代田三番町キャンパス幹部

小川 真実	3HA
田里 碧	3HA

## 平成27年度 学友会役員決定

### 町田キャンパス

会長	中込 友実	3DA
副会長	井上 夏菜	3DB
会計	永安 佳乃	3PB
	寒河江 美咲	3SW

監査 本多 南 3SW

### 千代田三番町キャンパス

副会長	安田 千尋	2GA
会計・渉外	大野 友季絵	2GB
監査・書記	長岡 恵美	2GA

生活文化博物館

千代田三番町キャンパスとの連携

東京家政学院生活文化博物館は、大学の研究室と協働して、質の高い展示や関連事業の実現をめざしています。

最近の例では千代田三番町キャンパスの現代家政学科教員との連携によって特別展「本気で見せます！江戸の料理」(平成25年)が実現しました。同時開催の公開講座でも江戸時代の料理本や古文書を参加者とともに読み解き、実際に江戸の料理を再現しました。

昨年11月の特別展「40年ぶりに目覚めたオートクチュール」でも現代家政学科ファッション分野の教員から布の種類や着装の方法など専門的なアドバイスなどを受けることで開催することができました。

博物館では学芸員が主体となって事業がすすめられますが、家政系分野をはじめ史学、民俗学、文学など人的資源が豊富な大学ではこうした研究室との連携は博物館の各種事業を充実させ、地域への貢献をさらに高める大きな要素となっています。



熊井先生のギャラリートーク



井澤、山村先生による特別展の準備

地域連携・研究(千代田三番町) センターの活動について

当センターは、平成26年度において、積極的な活動を行い多くの成果を上げることが出来ました。その主な活動をご紹介します。

まず6月7日～8日にNHK放送センターで行われた「NHKエコパーク」に昨年に引き続き参加しました。今年はお揃いの法被姿で教員・学生が、来場者と触れ合い好評を得ました。次に、10月4日には、これも昨年に引き続き「EDO ART EXPO」に参加し、千代田三番町キャンパスにおいて「木目込人形作り体験教室」(本学卒業生で久月人形学院の伊藤典子さんが講師)を開催しました。そして、11月15日には、アーツ千代田3331で開催された千代田区後援「CES環境フェスタ」千代田のエコ自慢」に昨年度に引き続き参加しました。(その他多数活動)

当センターでは、平成27年度も地域連携の積極的な活動を予定していますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



「NHKエコパーク」の様子



「木目込人形作り体験教室」

第14回神田小川町雪だるまコンテスト

東京の冬のイベントとしてすっかり定着した恒例の「神田小川町雪だるまコンテスト」が今年は、1月16日(金)～18日(日)に行われ、大学院生・現代家政学科OG連合チーム(代表・院1浅野夏美)が参加しました。

作品のテーマは、今年100周年を迎えた「東京駅」、横に長い駅舎を縦長の雪像にアレンジした斬新なデザインは、制作中から道行く人々の注目を集めていました。その結果、参加24チーム中、見事に一昨年に続き、第2位優秀賞(準グランプリ)を受賞しました。



完成した雪だるまとメンバー

が、チームは来年こそ優勝!と誓いを新たにしました。

平成26年度「生活と人間の復興を考える」東北の被災地から」現代生活学セミナーの開催

11月15日午後、千代田三番町キャンパスにて、現代家政学科主催による現代生活学セミナー「生活と人間の復興を考える」東北の被災地から」が開催されました。東北からお招きした2人の講演者と学生たちが主体的な学びを通して関わり合い、東日

東京家政学院奨学金・光塩会奨学金授与式



奨学金授与後出席者全員で記念撮影

平成26年11月8日(土)町田キャンパスで、東京家政学院奨学金・光塩会奨学金の授与式が執り

行われました。この東京家政学院奨学金と光塩会奨学金は、勉学に努力した2年生以上の成績優秀者に支給される制度で、毎年教授会で決定されます。

授与式には天野学長ほか大学役職者と、光塩会から会長・副会長、奨学金授与者が出席されました。最初に、天野学長から東京家政学院奨学金の授与が行われ、次に光塩会会長から光塩会奨学金の授与が行われました。引き続き、天野学長、光塩会長から、祝福と激励のお言葉があり、授与式は終了しました。

図書館報タイトルコンテストの結果について

前回の学院だより等で公募した図書館報タイトルコンテストですが、おかげさまで17点の応募があり、盛況のうちに終了しました。12月中旬に選考会を行い、松野副学長(学長代理)、小野眞理子委員(図書館



現代生活学セミナー(現代家政学科)

本大震災後に求められる「生活の復興」や「人の尊厳を守る」とについて考える機会を持ちました。

「卒業成長値グランプリ」の開催

学生生活における様々な活動を通して「卒業成長値」を高めることを目指し、平成26年12月13日(土)町田キャンパスにて、「卒業成長値グランプリ」を開催しました。栄えあるグランプリには、「可能性広がる4年間」と題し、4年間の積極的な学びについて発表した健康栄養学科4年土井咲さんが輝きました。学長から、『成功』は外側からの評価であるのに対し、『成長』は失敗や課題を明確にし、挑戦を通じた内面的変化』であって、今回発表された9名すべてが高い卒業成長値を表現していたとの講評をいただきました。



受賞者に表彰状が授与されました

運営委員代表)、岩見図書館長の3名が中心となり、「図書館であることがわかる」、「女子大の雰囲気が変わる」こと等が重視され、その上で「ごきげんよう」という言葉は、東京家政学院の伝統を象徴する言葉でもあるため「大江文庫からごきげんよう」が学長賞となりました。これにより本学の図書館報は次号から「大江文庫からごきげんよう」というタイトルで発行されます。(なお、図書館報タイトルコンテストの詳細は図書館報61号に掲載されています)

公開講座について



富永芳枝教授「料理講座」



毎年好評の味噌造り「食品と加工講座」

平成26年度東京家政学院大学公開講座は、別表のとおり行われ、好評のうち無事終了しました。なお、「料理講座」をご担当いただきました富永教授が、この3月末で定年退職となりました。本学で公開講座が始まって以来今日まで毎年開講され多大の貢献をされました。ここに感謝の意を示したいと思います。

平成27年度の予定は、決まり次第順次ホームページ等でお知らせいたします。多数のご参加お待ちしております。

平成26年度「公開講座」実施内容

開催キャンパス	講座名	開催日	担当教員
千代田三番町キャンパス	刺繍講座 -クロスステッチで花のミニ額作り	平成26年11月15日(土)・11月29日(土)・12月13日(土) 全3回	蒲池 香津代 准教授 正地 里江 助教
	料理講座I -小魚の生食法を学ぶ	平成26年6月14日(土) 全1回	富永 芳枝 教授 山岸 美穂 助教
	料理講座II -豆腐を使って料理する	平成26年7月19日(土) 全1回	
	料理講座III -中国のちまきを簡単に作る	平成27年2月14日(土) 全1回	
	料理講座IV -韓国料理の中でも一番身近な料理を作る	平成27年3月7日(土) 全1回	
町田キャンパス	食品と加工講座 -味噌造り、レトルト	平成26年6月7日(土)・9月6日(土) 全2回 (午前クラス・午後クラス)	林 綿貴 一也 教授 仁美 助教
	日本の伝統食品講座 -発酵食品	平成26年11月29日(土) 全1回	高尾 純宏 准教授
千代田三番町キャンパス	工芸制作講座 -香木を活かした小物づくり	平成26年9月27日(土)・10月18日(土)・10月25日(土) 全3回	尾崎 利生 教授 加地 雄一 准教授 野澤 祥子 准教授
	現代の子どもと学校 -「子どもの人権の歴史」 -「発達障害をめぐる問題」 -「乳幼児の子育てとその支援」	平成26年9月27日(土)・10月11日(土)・10月18日(土) 全3回	高橋 幸三郎 教授 須永 和宏 助教
千代田三番町キャンパス	福祉の現場で輝いた2人の女性 -「石井筆子の生き方」 -「マザー・テレサの生き方」	平成26年10月18日(土)・10月25日(土) 全2回	高橋 幸三郎 教授 須永 和宏 助教

「特別公開講座」について

平成26年度の特別公開講座は、千代田三番町キャンパスでは、11月13日(木)に千葉大学医学研究院教授野田俊氏をお招きし「ミクロの世界の不思議な生き物たち」のご講義が、また、町田キャンパスでは、10月23日(木)に元フジテレビ放送文化推進局 CSR 推進室長桜

井郁子氏とフジテレビアナウンサー奥寺健氏をお招きし「朗読に学ぶ言葉で表現できる世界～朗読を聴くこと、すること。言葉が教えてくれること。」のご講義が、それぞれ開催されました。



千葉大学医学研究院教授 野田俊氏

〒 305-0031 茨城県つくば市吾妻 3-1  
 TEL : 029-858-4811 (代表)  
 FAX : 029-858-7388  
 URL <http://www.tsukuba-g.ac.jp>

グローバル化によって、世界経済の相互依存関係は強まりますが、利害の対立も激しくなり多様な価値観がぶつかります。そのような時代に生きる皆さんは、異なる価値観や個性を理解し尊重する態度と、自分の考えを相手に理解してもらうコミュニケーション能力

の可能性を見出して下さい。

グローバル化によって、世界経済の相互依存関係は強まりますが、利害の対立も激しくなり多様な価値観がぶつかります。そのような時代に生きる皆さんは、異なる価値観や個性を理解し尊重する態度と、自分の考えを相手に理解してもらうコミュニケーション能力



筑波学院大学  
学長 大島 慎子

新入生を迎えて

ご入学おめでとうございます。大学で学ぶ真の目的は、知識を得ることだけではなく、皆さんが自立し行動を起こすための力を身につけることです。

筑波学院大学では、学校法人東京家政学院の創立者である大江スミ先生の教育理念である知識 (Knowledge) の啓発、徳性 (Virtue)、技術 (Art) の錬磨の涵養を継承し、グローバル社会に活かせる幅広い知識と高度なIT社会に活用できる技術を習得し、それらを社会に役立てる意欲を育てる教育を行っています。このために、本学では、1、2年生が必修科目として「つくば市をキャンパスに」地域連携プログラムに参加して活動します。現在約100団体にご協力いただいています。皆さんもこのプログラムにより、身近な社会の課題に気づき、また、活動を通して自分の可能性を見出して下さい。



筑波学院大学  
学友会会長  
笹川 将汰

平成27年度学友会会長挨拶

皆さんが本学で過ごす4年間は、自分の可能性を見出す時間です。好奇心をもち、国際的な視野を広げ、多くの友人と交わり、確かな目標をもって社会に巣立つよう、教職員が協力して支援いたします。

平成27年1月14日の学生総会において承認を受け、筑波学院大学学友会会長に就任しました笹川将汰です。私は、入学する前から学友会にとっても興味があり、入学後すぐに学友会員として活動してきました。「会員相互の親睦と品位の向上を図ると

平成 27 年度 学友会役員決定

会長	笹川 将汰
副会長	栗田 滂 佐藤 貴公
会計	坂坊 勇輝 本橋 佳奈子 須藤 愛里沙
書記	堀江 美香 橋本 未来
広報	星 華子 佐々木 愛美 市川 龍也 山口 詩穂 飯島 直幸

渉外	根本 健大 オウ シホウ 大塩 健一
会計監査	石野 祐哉
クラブ連合会	会長 宮本 憲一 副会長 許 マリア
第 25 回 KVA 祭実行委員会	委員長 久保木 圭伸 副委員長 大塩 健一 川澄 奈々

■東京家政学院大学 入試日程

入試種別	日程	出願期間 ※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
A O 入試 オープンキャンパス参加型	1期	9月1日(火)～9月11日(金)	別に定められた 出願前の面談日	9月17日(木)	10月1日(木)
	2期				
A O 入試 課題型	1期	9月1日(火)～9月11日(金)		9月17日(木)	10月1日(木)
	2期	9月17日(木)～9月29日(火)			
	3期	10月7日(水)～10月16日(金)			
推薦入試	A日程	10月16日(金)～10月23日(金) 窓口受付:10月26日(月)※2		11月1日(日)	11月6日(金)
	B日程	11月17日(火)～11月27日(金) 窓口受付:11月30日(月)※2	12月5日(土)	12月9日(水)	12月18日(金)
一般入試	S日程	1月4日(月)～1月14日(木)	1月23日(土)	1月28日(木)	2月5日(金)
	A日程	1月4日(月)～1月15日(金) 窓口受付:1月18日(月)※2	2月1日(月) 2月3日(水)	2月5日(金)	2月16日(火)
	B日程	1月22日(金)～2月9日(火) 窓口受付:2月10日(水)※2	2月17日(水)	2月19日(金)	2月26日(金)
	C日程	2月22日(月)～3月1日(火) 窓口受付:3月2日(水)※2	3月10日(木)	3月11日(金)	3月18日(金)
センター試験 利用入試	A日程	1月18日(月)～2月1日(月) 窓口受付:2月2日(火)※2	大学入試 センター試験 1月16日(土) 1月17日(日)	2月9日(火)	2月17日(水)
	B日程	2月8日(月)～2月18日(木) 窓口受付:2月19日(金)※2		2月24日(水)	3月3日(木)
	C日程	3月3日(木)～3月14日(月) 窓口受付:3月15日(火)※2		3月18日(金)	3月25日(金)
特別選抜試験 (社会人・海外帰国子女)	A日程	8月25日(火)～9月1日(火)	9月15日(火)	9月17日(木)	10月1日(木)
	B日程	12月7日(月)～12月14日(月)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月22日(金)
私費外国人 留学生試験	A日程	7月17日(金)～7月31日(金) 窓口受付:上記期間中※3	9月15日(火)	9月17日(木)	10月1日(木)
	B日程	11月11日(水)～11月26日(木) 窓口受付:上記期間中※3	1月9日(土)	1月15日(金)	1月22日(金)
編入学試験 学士入学試験	A日程	8月25日(火)～9月1日(火)	9月15日(火)	9月17日(木)	10月1日(木)
	B日程	12月7日(月)～12月14日(月)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月22日(金)

※1 出願期間は、郵送での締切日(消印有効)を表す。  
 ※2 推薦入試、一般入試(S日程を除く)、センター試験利用入試の窓口受付は、町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。  
 ※3 私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中(土・日曜、祝日を除く)の町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。

■AO入試面談日・キャンパス

		対象となるオープンキャンパス 体験授業の実施日	面談実施日	現代家政	健康栄養	生活 デザイン	児童	人間福祉
AO入試 オープンキャンパス 参加型	1期	6月21日(日) 7月26日(日)	8月4日(火)	/	/	町田	町田	町田
	2期	8月1日(土) 8月2日(日)	8月28日(金)	/	/	町田	町田	町田
AO入試 課題型	1期	/	8月28日(金)	千代田	千代田	町田	町田	町田
	2期	/	9月12日(土)	千代田	/	/	/	/
	3期	/	10月3日(土)	千代田	千代田	町田	町田	町田

■オープンキャンパス 2015 日程

	千代田三番町キャンパス	町田キャンパス
6月	14日(日)	21日(日)
7月	19日(日)	26日(日)
8月	1日(土)、2日(日)、23日(日)	1日(土)、2日(日)、23日(日)
9月	/	20日(日)
10月	4日(日)	/
11月	/	14日(土)、15日(日) KVA祭同日に 進学相談会として開催
3月	26日(土)	27日(日)

(お問い合わせ先)  
 東京家政学院大学  
 〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地  
 町田キャンパス 入試広報グループ  
 TEL 042-782-9411 FAX 042-782-1711  
 URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>  
 E-mail [nyushi@kasei-gakuin.ac.jp](mailto:nyushi@kasei-gakuin.ac.jp)

※詳しくは大学案内、学生募集要項をご覧ください。

ともに、自主精神とKVA精神を基本として人間形成に努め、あわせて筑波学院大学の発展向上に寄与すること」を指針に、私はこれまでの先輩方が行ってきた企画や業績に執着せず、どんどん新しいことに取り組んでいきたいと思えます。また、本年度はクラブ連合会と協力し、サークルや同好会がより活動しやすい環境を作り、大学の学生活動を活性化していきたいと考えています。学生の皆さんの意見を学友会活動に反映させるため、これまで通り意見箱を活用し、誰もが過ごしやすく、充実した学生生活を送ることのできる大学を作ります。学友会員一人ひとりが自覚を持ち、「さすが学友会！」と言われるようにしていきたいと考えています。

### 超小型モビリティ利用実験

本学では平成26年12月から平成27年1月の2ヶ月間、超小型モビリティ2台をつくば市から借り受け、環境モデル都市である市の推進する超小型モビリティ活用事業（国土交通省補助事業）の実証実験に協力しました。超小型モビリティとは家庭用コンセントで充電可能な環境性能に優れた1人乗り電気自動車です。普通運転免許で運転ができますが、学生は実験時に必要となる事前講習を受講して臨みました。

高藤清美教授のゼミでは筑波山周辺の環境計測実験、社会参加活動を必修とするOCP（オフ・キャンパス・プログラム）の

活動の一環では保育園・小中学校周辺のパトロールなど、超小型モビリティは多岐に渡って活用されました。

平成27年1月8日に行われたOCP活動のパトロールには、NHK・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞などマスコミ7社が駆け付け、学生のパトロールに同行して取材を行いました。本学のロゴマークと「安全パトロール中」ステッカーを貼った超小型モビリティとセグウェイ（電動立ち乗り二輪車）に乗りこんだ学生がパトロールを行う様子を伝える記事が各紙に写真入りで大きく掲載されました。

本学では平成25年度より学生がセグウェイを利用して、ロボット特区であるつくば市の保育園・小中学校周辺のパトロールを継続して行ってきました。珍しい乗り物を運転することで周囲の関心を高め、結果的に地域の安全意識を向上させるという成果を上げています。今回この活動のツールに超小型モビリティを加えたことで、セグウェイの走行が許可されている



パトロールの様子

ロボットの範囲を広げることが可能になりました。小雨回りも対応天時にも対応

### OCP活動について

筑波学院大学のOCP（オフ・キャンパス・プログラム）は、平成26年度で10年目を迎えました。平成17年2月、「つくば市をキャンパスに」を目指したOCPと地域社会との関わりはスタートし、以来10年間、本学の学生は全員、つくば市をはじめ県内各地のまちづくり、環境、子ども、スポーツ、情報、福祉など幅広い分野の活動団体に受け入れていただいています。

学生たちは、活動先で、今まで関わったことがない年齢層や異なる文化的背景を持つ人たちとの活動を通して、目標を達成するために必要なスキルや、自分に不足している力を認識します。社会のルールを守れず、受け入れ団体の方からお叱りを受けることもしばしばです。

OCPを担当している教員は、経験を通して得た学生自身の気づきをまとめるプロセスを経て、学生たちの思考や行動が深まっていくことを期待しています。さらに、学生たちが地域の課題を解決するための方策にも目を向けることができるように指導しています。

毎年、外部アドバイザーの方に学生の活動報告を聞いていただく学年報告会を開催しています。今年も2月上旬に行われ、3年生を中心とした優れた取り組みに、活発な質問や有益なコメントが寄せられました。常陽新聞のご厚意で、学生たちの経験

を報告記事として載せていただくことも、年を重ね9年目になりました。

多くの方々のご協力で成立しているOCPを、今後ともどうぞよろしく願っています。



OCP 奨励賞受賞者らとの一枚



報告会の様子

### ICT機器の充実と学修活動の活性化を目指して

筑波学院大学は平成25年度に引き続き、文部科学省の「平成26年度私立大学等改革総合支援事業」のタイプ1「教育の質的転換」とタイプ2「地域発展」に取り組む大学として認定されました。この取り組みをさらに発展させるために「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」による補助金をいただき、平成26年度は、語学、ビジネス、情報に関する基礎的知識を完全習得するためのeラーニングシステムの導入と地域および海外との交流学习を実現するためのTV会議システムを導入しました。eラーニングシステムは、定評のあるアルク社のALC Net Academy2で、本システムにより授業中での活用に加え、学内および家庭での自律的な学修での活用が可能

できる超小型モビリティを使用することによって、学生たちは「活動をさらに発展させることができた」と感想を述べていました。本学は研究学園都市の中心に位置するという地の利を活かし、これからも市民・企業・大学・研究機関・行政が一体となって行う取り組みに協力していきます。

### 年賀状デザインコンペティション開催

本学では学生対象の年賀状デザインコンペティションを行い、グランプリに輝いた遠藤ひかりさんのデザインは、本学からの各学校長、各企業宛への年賀状として使用されました。1月21日（水）には、学長室で表彰式が行われ、賞状と副賞が贈呈されました。

受賞者は次の2名です。おめでとうございます。

- グランプリ … 遠藤ひかり（3年）
- 準グランプリ … 木村佳澄（3年）



左より大島学長、木村さん、高嶋講師

となりました。TV会議システムは、つくば市および周辺地区で取り組んでいるOCP活動での活用および早稲田大学などでも取り組まれているCCDL（Cross-Cultural Distance Learning）授業等での活用が可能なシステムです。カメラ・マイク付きのパソコンを用意することで、複数拠点間の接続や、同時に複数のセッションの通信が実現できます。何れも平成27年度から本格的な活用が始まります。

### 学生総会開催

平成27年1月14日（水）第26回学生総会が開催されました。現会長の挨拶から始まり、学友会費の決算・予算の承認、平成27年新会長および新役員の紹介と承認が行われました。新学友会長に選出された2BB 笹川将汰さんから今年の学友会の活動計画や会長としての挨拶があり、新会長としての意気込みが大いに感じられました。

学生総会終了後は第2食堂において学長主催の「ニューイヤーパーティ」が開催され、学長挨拶では、これからの筑波学院大学の新たな取組についての報告がありました。



学生総会の様子

た。パーティには多くの学生が参加し、終始和やかな雰囲気です。学生同士の親睦を深める機会となりました。

### 留学生文化研修旅行を実施

11月22日（土）に、『留学生文化研修旅行』で茨城県の大洗方面に行きました。

大洗磯前神社や那珂湊おさかな市場では、震災当時のお話と現在も続いている修復作業の様子を見せていただきました。市場全体が津波で壊滅的なダメージを受けた那珂湊

おさかな市場は、各店舗、各地から足を運んでくれるお客様のおかげで、現在では震災前以上の来場者数があるそうです。改めて震災の怖さを実感するとともに、復興に取り組む人たちの努力を感じました。



大洗磯前神社での様子

### 避難者大交流会開催

10月18日（土）、福島第一原発事故のため、福島県からつくば市内をはじめ茨城県南地域に避難されている方々の大交流会が本学で開催されました。

当日は浪江町出身で、NHK花は咲くプロジェクトのメンバーでもある民謡歌手、原田直之さんをお迎えしてのコー

ンサートも開催され、それに先立つセレモニーでは大島学長より、長引く避難生活に少しでも役立てるようにつくば市と連携を取りながら、支援を継続する旨のお話がありました。



交流会の様子

平成 28 年度 筑波学院大学 入試日程

■ AO 入試【セミナー型】

区分	セミナー開催日	出願資格認定通知日	出願期間 (消印有効)	本面談日	合格発表日
1期	7月20日(月・祝)	7月21日(火)	8月3日(月)～8月17日(月)	本面談はありません	8月21日(金)
2期	9月13日(日)	9月14日(月)	9月15日(火)～9月28日(月)	本面談はありません	10月2日(金)

■ AO 入試【予備面談型 / 作品型】

区分	出願期間 (消印有効)	本面談日	合格発表日
1期	8月3日(月)～8月17日(月)	8月20日(木)	8月21日(金)
2期	9月7日(月)～9月18日(金)	9月27日(日)	10月2日(金)
3期	11月4日(水)～11月17日(火)	11月23日(月・祝)	11月24日(火)
4期	1月6日(水)～2月2日(火)	2月7日(日)	2月9日(火)
5期	2月29日(月)～3月15日(火)	3月19日(土)	3月22日(火)

■ 推薦入試

区分	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	10月13日(火)～10月28日(水)	11月3日(火・祝)	11月5日(木)
B日程	11月24日(火)～12月8日(火)	12月13日(日)	12月14日(月)

■ 一般入試

区分	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	1月6日(水)～1月25日(月)	1月31日(日)	2月2日(火)
B日程	2月15日(月)～3月1日(火)	3月6日(日)	3月7日(月)

■ センター試験利用入試 [大学入試センター試験日：1月16日(土)・17日(日)]

区分	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	1月18日(月)～1月29日(金)	本学独自の 学力審査は ありません	2月9日(火)
B日程	2月15日(月)～2月26日(金)		3月7日(月)
C日程	2月29日(月)～3月11日(金)		3月22日(火)

■ 私費外国人留学生入試

区分	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
A日程	9月14日(月)～9月29日(火)	10月12日(月・祝)	10月16日(金)
B日程	11月4日(水)～11月17日(火)	11月23日(月・祝)	11月24日(火)
C日程	1月6日(水)～1月25日(月)	2月7日(日)	2月9日(火)
D日程	2月15日(月)～3月7日(月)	3月19日(土)	3月22日(火)

■ 社会人入試

出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
1月6日(水)～2月2日(火)	2月7日(日)	2月9日(火)

■ オープンキャンパス開催日時

4月26日(日)	10:30～	
5月17日(日)	10:30～	
6月14日(日)	10:30～	
7月20日(月・祝)	10:30～	AOセミナー同時開催
8月2日(日)	10:30～	
8月30日(日)	10:30～	
9月13日(日)	10:30～	AOセミナー同時開催
10月24日(土) 25日(日)	10:30～	KVA祭同時開催
3月27日(日)	10:30～	

■ 入試相談会

11月8日(日)	10:30～
12月6日(日)	10:30～
2月21日(日)	10:30～

■ 授業公開期間

7月21日(火)
7月22日(水)

※詳しくは大学案内、学生募集要項をご覧ください。

「大学案内 2016」



表紙は、システム化が進む現代でも個を失わない本学の学生をイメージしています。マネジメント知識と情報スキルを習得し、ビジネスをデザインできる人材を育成します。地域で活躍するグローバル人材があなたのミライ。

(お問い合わせ先)  
筑波学院大学  
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1  
TEL 029-858-4815 FAX 029-858-7388  
URL http://www.tsukuba-g.ac.jp E-mail nyushi@tsukuba-g.ac.jp

「ツクリイニティカレッジ」

11月19日(水)、コミュニティカレッジ講座の一つである『ドイツワインのタベ』が開催され、試飲会には約50名の市民が参加しました。ソムリエールでありレーゼニスト(ぶどうの収穫の意味)の能勢美紀子氏を講師に迎え、ドイツワインの歴史と種類、ドイツの食やワイン・ビールの関係についての講話がありました。

池辺勝幸牛久市長もお招きし、7種類のドイツワインとドイツの冬の煮込み料理であるアイントプフ (Eintopf) が振る舞われ、講座終了時間になっても話が尽きないほど大いに盛り上がりました。

なお、平成27年度は語学、教養併せて93講座を4月18日から開講予定です。詳細は筑波学院大学ホームページをご覧ください。  
お問い合わせ先: kouza@tsukuba-g.ac.jp



ドイツワインとアイントプフ



講座の様子

第24回KVA祭・第2回KVACUPを開催

10月25日(土)・26日(日) 本学にて第24回KVA祭が開催されました。3年ぶりに2日間ともに天候に恵まれ、全ての企画



KVA祭の様子

英語交流連盟後援で、第2回KVACUP(英語スピーチコンテスト)が本学大教室で開催されました。今年も36名の出場者があり、部門ごとに素晴らしいスピーチが行われました。協賛いただいた(株)JTB関東(株)ブリティッシュ・ヒルズ(神田外語グループ)、(株)JTB、オックスフォード大学出版局(株)、カシオ計算機(株)からは受賞者に協賛品も贈られました。2日目には「第9回小学生ドッジボール大会」に県内外から15チームが集まり、茨城県ドッジボール協会後援のもと、優勝目指して今年も熱戦が繰り広げられました。2日間にわたり、コンサート、大声大会、仮装大会などのイベントや、研究成果の発表、サークル、同好会の展示や模擬店が行われ、多数の来場者をお迎えして大いに盛り上がりました。

保護者会開催

9月27日(土) 本学2101教室におい

て保護者会を開催しました。

全体会に先立ち、希望された保護者の方を対象にキャンパスツアーが実施され、新施設のディスプレイルームや、ワークショップルームを見ていただきました。

全体会では大島学長の挨拶に始まり、高藤学生委員長からは、学食改善の取り組みや、100円朝食の提供など、学生生活の質の向上の為に支援について報告がありました。木村就職委員長からは現在の就職市場の概況や本学の学生の就職活動状況の報告があり、保護者の方々は熱心に耳を傾けていました。

また、本学学生相談室カウンセラーの泉水紀彦先生により、「大学生のこころの理解とサポート」学生期の課題に応じた支援」というテーマで講演会が行われ、アンケートには「親子関係を振り返る事ができた。」「子供と向き合う参考になった。」等の感想が寄せられました。講演会終了後は



泉水先生による講演会の様子

個別面談が実施されました。

留学生が中学校で国際交流

12月10日(水)、本学の留学生たちが、龍ヶ崎市立城ノ内中学校の国際交流会にゲストとして招かれました。中学生からの積極的な質問に、留学生たちは少し緊張した様子でした。中学生からは歌や折り紙などのプレゼントもあり、最後に皆笑顔で記念写真も撮りました。留学生たちが日本の中

学校の教室に入り、交流の場を持つという機会は滅多にありません。彼らにとっても良い日本語の勉強の場となり、同時に日本の一面を学ぶ貴重な機会となりました。



中学校での交流の様子



〒102-8341  
東京都千代田区三番町 22 番地  
TEL.03-3262-2255 (中学)  
TEL.03-3262-2256 (高校)  
URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/>  
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp



校長 長尾 宏

## 入学生の方へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから中学生は6年間、高校生は3年間、この家政学院で過ごすこととなります。合格通知を受け取ったその日から、皆さんはこれから始まる学校生活に多くの期待をされたことと思います。新しい友達との出会いはきつと皆さんを更なる成長へと導いてくれることでしょう。

本学院の教育は、皆さんが希望する進学先に進むことのできる学力を身につけることはもちろんですが、社会人として必要なコミュニケーション力、ディベート力、プレゼン力を育てていくことにも重点を置いています。

生きる力(学力・人間力)を身につけ、その成長が生み出す自尊の心(自分を好きでいられる、大切に思える、誇りに思える心)を育て、社会に貢献できる自立した女性の育成を目指すことが本校の教育理念です。学校生活全般を通して、皆さんの中にまだ眠っている、いわゆる「潜在能力」を私たちと一緒に伸ばしていきたいでしょう。

## クラブ活動報告

### ■高校バドミントン部

ごきげんよう。平成26年度の試合結果をご報告します。関東大会予選決勝大会都ベスト16、インターハイ東ブロック予選3位、新人大会決勝大会都ベスト16、冬季東ブロック大会準優勝でした。



### ■高校ソングリーダー部 (SLS)

11月の地区予選を通過し、ダンスドリルウィンターカップ2015に出場して参りました。

会場となる代々木体育館では多くの観客を前に堂々とした演技を披露しました。

この大会で3年生は引退となります。1年間クラブを支えてくれた3年生、お疲れ様でした！年間を通し、大会の多いクラブですが、全国大会という大きな目標を掲げ毎日練習に励んでいます。春に新入生を迎えるのも楽しみです。



も応援宜しくお願いします。

## 生徒の自尊心を育む『eポートフォリオ』

中高では、昨年10月から中1を対象に「eポートフォリオ」を導入しました。

生徒が日々の授業や学校生活を通じて感じたこと、気づいたことをタブレットに自由に記録し、自己評価を通して主体的に学ぶ姿勢を養うものです。保護者からもスマートフォン等を通じて子どもの学びの様子を把握することができ、コメントを返すことも可能です。このシステムは、21世紀のグローバル社会に対応したICT教育の先駆的な試みとして全国初となるものです。今後にご注目ください。



振り返りを入力する生徒

## 平成26年度高校卒業式

春まだ浅い3月3日、第67回卒業式がロイズホールにおいて、挙行されました。平成26年度の卒業式は総勢97名。そのうち12名が3力年皆勤し、表彰されました。また、学院に貢献し優秀な成績を収めた生徒に贈られる「大江賞」は、生徒会長を務めた中島早絵が受賞。卒業生代表の答辞は、合唱祭実行委員執行部委員長を務めた田村季恵が大任を果たしました。



卒業生代表の答辞は、合唱祭実行委員執行部委員長を務めた田村季恵が大任を果たしました。

## 英語偏差値全国1位

昨年実施された「第2回ベネッセ学力推移調査」において、ジェスター祥奈さん(当時3生)が、全国5万2千人を超える受験者中、英語の偏差値1位という優秀な成績を修めました。

これを受けて、今年2月6日、本学理事長室において奨励賞の授与式が行われました。奨励賞の授与と共に理事長より褒めの言葉をいただき、本人も緊張の中、改めて嬉しさが込み上げてきた様子でした。今回の結果が、本校生徒全体に対する大きな刺激となり、中高生の学力向上へと繋がることでしょうか。おめでとうございます。



## 成人を祝う会

### ごきげんよう。

平成27年1月12日(月)に大江スミ記念ロイズホールで第3回成人を祝う会が行われました。皆、美しい着物を身につけ、平成24年度卒業生約100名が久しぶりに母校に集合し、教師・友人との楽しい時間を過ごしました。また、当日はあづま会とPTA常任委員の皆さんの協力もあり大成功に終わりました。卒業生の皆さん、成人おめでとう。これからの活躍、期待しています。



## 合唱祭報告

合唱祭実行委員長 高2 足立杏美ごきげんよう。1月28日(水)に練馬文化センターで合唱祭を行いました。1月に入って各クラス朝、昼休み、放課後と練習を重ねました。本番では練習の成果を発揮し、どのクラスも素晴らしい合唱でした。また、75周年のスペシャルステージとしてリレー合唱「ありのまま」も行いました。サプライズで先生方

にも舞台上に上がっていただき、大変盛り上がりました。合唱祭にご参加いただいた皆さんのおかげで最高の合唱祭となりました。本当にありがとうございました。



高校大江賞受賞 高校2年A組

## 2016年度入試(実施:2015年度) 東京家政学院中学校・高等学校校内説明会日程

※10月までの日程を載せています

	キャンパスツアー	説明会
中学校	4月25日(土) 11:00	5月10日(日) 9:30
	5月23日(土) 11:00	6月21日(日) 9:30
	6月6日(土) 11:00	7月11日(土) 9:30
	9月5日(土) 11:00	10月10日(土) 14:00
高等学校	7月4日(土) 11:00	7月20日(祝) 9:30
	9月19日(土) 11:00	8月1日(土) 9:30
	10月17日(土) 11:00	8月23日(日) 9:30
		10月25日(日) 9:30
		ばらフェスタ

- 【中学説明会の解説】  
 1)《キャンパスツアー》は授業見学・施設見学・ミニ説明会を行います。  
 2)《ばらフェスタ》は本校の魅力を体験できます。  
 3)《クラブ体験》は「在校生と一緒に、楽しいクラブ体験」をしていただけます。  
 4)《コース制》はきめ細かい本校の指導方針を紹介します。  
 5)《過去問解説・入試直前対策》は入試担当者が、傾向・要点を分かりやすく解説します。
- 【高等学校説明会の解説】  
 1)《キャンパスツアー》は授業見学・施設見学・ミニ説明会を行います。  
 2)《大学合同オープンキャンパス》は、併設大学と合同の説明会です。併設大学の魅力をお伝えします。  
 3)《オープンスクール》は「授業」と「クラブ」体験ができます。在校生が一緒です。  
 4)《ばらフェスタ》は本校の魅力を体験できます。

■学校見学  
 中学・高等学校 共通  
 平日 10:00~16:00 土曜 13:00~16:00  
 ※事前にご連絡下さい。(学校行事等の都合で見学できない場合もあります)

■学習塾対象説明会  
 6月9日(火) 10:00~11:00 本校

■中学・高等学校共通イベント  
 以下は、中学・高等学校共通の行事で原則非公開ですが、受験生・保護者の皆様は予約なしで見学できます。

未定	10:00~15:00	体育祭(常磐祭第一部)
9月26日(土)	10:00~15:00	文化祭(常磐祭第二部) 入試相談実施 本校
9月27日(日)	10:00~15:00	文化祭(常磐祭第二部) " 本校
1月28日(木)	13:00~15:30	合唱祭
未定	13:00 開場	吹奏楽部 定期演奏会

その他ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。  
 (お問い合わせ先)  
 東京家政学院中学校・高等学校 入試事務室  
 電話 03-3262-2559 (入試専用ダイヤル) FAX 03-3262-2223  
 ホームページ <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/>

新入生の皆さまへ



光塩会会長  
永山 スミ

新入生の皆さま、御入学おめでとうございます。

皆さまは、御入学と同時に、光塩会の学生会員とされました。5万人の卒業生会員が、皆さまのご入会を心から歓迎いたします。

会員は、「光塩会」と命名されました創立者大江スミ先生の志「世の光、地の塩」としての指針を實踐しつつ、社会に活躍をしております。

今年度も、若さ溢れる皆さまをお迎えし、新しいエネルギーを吸収しながら、皆さまと友情の輪を広げ、縦の絆を固く築く場としての役割を果たすことが出来ますように努めて参りたいと存じます。光塩会に関心をお寄せ下さり、諸活動に御参加下さい。

4年間の学生生活は、皆さまの未来を創り出す源動力となることでしょうか。自己実現を目指しつつ、師との出会い、友との出会いによって、充実した日々を歩まれますよう声援を送りたいと存じます。光塩会員も、皆さまと共に歩みたいと切望いたしております。

あなたの輝かしい未来は、あなた御自身によって開かれることを心に止め、有意義な学生生活をお過ごし下さい。

新入生の皆さんへ



あづま会会長  
澤田 三和子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

ようこそ東京家政学院へ!!  
あづま会は東京家政学院高等学校の同窓会です。

皆さんにお目にかかるのは、常磐祭(体育祭・文化祭)です。

体育祭では皆さんの元気な競技姿を応援し、文化祭ではお教室をあづま会のお部屋にして、直接

お目にかかり交流を持つことができます。

あづま会は皆さんが明るく健やかな学院生活を送れるように、応援しています。

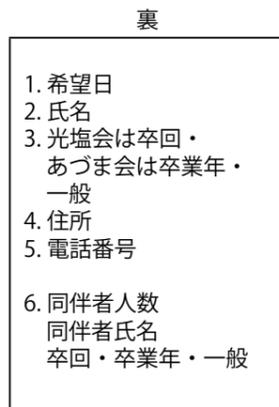
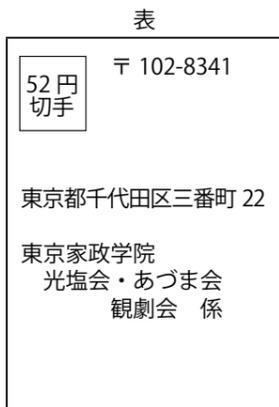
今年の主な活動の紹介

- \* 総会・懇親会の開催
- \* 「あづまだより」の発行
- \* ホームページの配信
- \* 奨学金給付
- \* 校章ストラップ・あづりーヌのコンパクトミラーの販売
- \* 常磐祭の参加
- \* 麻実れいさん(元宝塚)の観劇会

光塩会・あづま会合同観劇会のお知らせ

卒業生で女優の麻実れいさんの観劇会を行います。宝塚歌劇団では雪組トップスターとして活躍し、退団後ミュージカル、古典、翻訳劇など多くの話題作に出演。今年女優になって45周年を迎える記念の公演です。観覧ご希望の方は下記にてお申込みください。

日	時	平成27年9月9日(水)・9月13日(日)	各日とも14時開演
会場		シアタートラム(世田谷パブリックシアター・最寄駅「三軒茶屋」)	
演目		「夜への長い旅路」(他出演者・田中圭、満島真之介、益岡徹)	
定員		各日50名(申込み多数の場合は抽選とさせていただきます)	
チケット代		8000円(優待価格)	
申込み		お葉書にてお申込みください	



申込み締切日 平成27年6月20日(土) 必着  
7月上旬頃、お葉書にてご連絡いたします(チケット代納入方法など、詳細をお知らせいたします)  
問合せ先 光塩会・あづま会(月火金10時から16時) TEL/FAX 03-3265-3646

Knowledge : 知識を高める  
Virtue : 徳性を養う  
Art : 技術を磨く

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地  
TEL : 03-3262-2251 (代)

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>

新年度を迎えて ~全員参加のKVAルネサンス~

学校法人東京家政学院  
理事長 沖吉 和祐



若葉が鮮やかで吹く風が爽やかななか、3月に卒業生を社会に送り出し、4月に入学生の皆さんと新しい教職員を迎え、新年度が始まりました。

また、進級した学生・生徒の皆さんは、これまでの学園生活の成果・課題を踏まえつつ、いっそう充実した日々を実現されるよう期待しています。

本年度は、本学院の創設者である大江スミ先生が1875年に長崎でお生まれになって、140年の記念すべき年に当たります。これを機会に、イギリス留学で身につけた文明への憧憬と日本の良き伝統が相俟って「国際的に通用する教養人」の育成しようとした大江スピリッツ=KVA精神(広く智を求め、実践的な技を身に付け、それらを社会で活かす徳を養う)を改めて考えてみましょう。

少子高齢化、情報化・グローバル化、地球環境、地域連帯など大きな課題を抱える激動の現代において、本学院の建学理念であるKVA精神は、その輝きが増しているのではないのでしょうか。

本年度、新しい「KVAルネサンス計画」に取り掛かります。学生生徒の皆さんは「私は何故この学院に入ったのか?」、教職員の皆さんは「私は何をしようと思ってこの学院に就いたのか?」、同窓生の皆さんは「学院で学んだことがどのように活かされているか?」思い起こしていただき、KVAルネサンスに参加してください。本学院だからこそできる教育研究は何か、全国に先駆けて最初に始めることができる取組みは何か、本学院の特徴をいかす私たちの将来をみんなで考え、実現に向けて努力しましょう。

中学・高校・大学生時代は、人生で最も変化し、楽しく輝く時であり、また、悩むときでもあります。教職員・同窓生は互いに協力して、未来に向けて飛び立つ生徒・学生をしっかりと支えることにより、地域と共に歩む、地域の中の大学・学校として社会に貢献していこうではありませんか。

「東京家政学院創立90周年記念募金」報告

本学院では東京家政学院の創立90周年を記念し、卒業生や教職員の皆様のご賛同を得て、平成22年7月から平成27年5月まで募金活動を行っております。

お陰様で現在、7千万円を超えるご寄付をいただきました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきましたご芳志は、次のような事業に使用されています。



テニスコート整備  
(千代田三番町キャンパス)



ローズコート  
(町田キャンパス)



図書館のパソコン更新  
(筑波キャンパス)



キャリアサポートセンター  
(高等学校・中学校)

今後も千代田三番町、町田、並びに筑波の各キャンパスの教育環境整備などに活用させていただきます。引き続き、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

<お問い合わせ先> 学校法人 東京家政学院 募金事務局 TEL: 03-3262-2242 E-mail: bokin@kasei-gakuin.ac.jp

共に感じ、学ぶ

東京家政学院大学

現代生活学部

現代家政学科卒業

岡安 麻衣

教員となって、1年が経ちます。私は現在、埼玉県の中学校において臨時的任用で家庭科の教員として勤務させていただいております。家庭科の授業を教えることはもちろん、【食育】【給食】【パレール部】【会計】などの校務分掌を任せられ、想い描いていたものよりもはるかに多忙な日々です。けれど、日々のなかにはいつも多くのかかわりがあり、充実しています。あたたかいサポートに支えられながら、人懐っこく何に対しても全力でがんばる生徒たちの姿にたくさん元気をもらいながら、私も負けじと日々を全力で過ごしております。

私の勤務する学校には給食調理室があります。生徒は自分の学校で作られた、つくりたて・あたたかい・おいしい・安全な給食を毎日のしく食べています。先日、1年生で『給食ができるまで』という授業を行いました。実際に給食指導をなさっている栄養教諭の先生を招き、献立のつくられかたや、添加物を一切使わない調理の工夫など、生徒たちにとって身近な学びになるとともに、感謝の気持ちを感じることができたようです。次に、『給食の献立をつくらう』という授業を行い、教えていただいた知識をもとに生徒自身が給食の献立を考え、『MYオリジナル給食献立』を完成させました。その献立のなかから各クラス1名ずつ選出し、実際の給食として提供しました。給食調理室がある学校ならではの取り組みであり、学校の特色に合わせた工夫によっては、授業の可能性はいくらでも広げて行けるの

ではないかと感じました。

教育の『人に教える・人を育てる』という任務は大きなプレッシャーとなりますが、たくさん初めての経験のなかで、自分の成長を感じます。なにより、教員となつてから、やりがいを感じなかったことは一度もありません！

これまでは、サポート役として学年の仕事をしてきました。しかし、新学期からは職場も変わりいままでもなく慌ただしくなりますが、自覚と責任をもって臨んでいこうと思っております。学生のみならず、夢や目標を見失わず、自分の信じる道を自信をもって進んで行つてほしいですね！



生徒が考えた給食

もって進んで行つてほしいですね！

プロフィール

- 岡安 麻衣 (オカヤス マイ)
- 平成24年 東京家政短期大学 栄養学科卒業
- 平成26年 東京家政学院大学現代生活学部現代家政学科卒業
- 平成26年 5月末から埼玉県の公立中学校で家庭科臨時的任用教員として勤務 現在に至る
- 平成27年 埼玉県教員として本採用 予定

研究室紹介50

東京家政学院大学

健康栄養学科 体育研究室

(吉田博幸研究室)

体育研究室では健康栄養学科の学生が卒業研究(科目名は実践健康栄養プロデュース実習)を行っております。研究はグループによるもので、例年3グループが自分たちで課題を見つけて研究に取り組んでいます。ここでは、これまでの卒業研究の中から主なものについて簡単に紹介します。

【健康増進を目的としたトレーニングの効果】

自らが被検者となりトレーニングを行い、トレーニング前後で体組成や体力にどのような変化がみられるかを検証しました。トレーニングは、自宅でできる腹筋運動などとDVDを見ながらダンスを踊るということを週3日、10週間行いました。大きな変化はみられませんが、筋力は向上し体脂肪率は減少する傾向が見られました。

【市販飲料が運動時の体脂肪燃焼に及ぼす影響】

体脂肪の燃焼を促進するというキヤッチフレーズで市販されている飲料を摂取して運動したときに、エネルギー源としての脂肪の動因が増加するかどうかについて調べました。運動直前に500mlを摂取した程度では、運動で消費する脂肪の量を増加させることは難しいということがわかりました。

【飲料摂取が血中乳酸濃度の回復に及ぼす影響】

激運動後の血中乳酸の除去に、疲労回復効果が期待されるBCAA飲料やクエン酸飲料の摂取が影響するかどうかについて検討しました。運動によって限界まで蓄積した乳酸を飲料によって効果的に減少させるということは難しいという結果となりました。

【暑熱下における高校生女子運動部員の水分摂取と体温変化の実態】

真夏の練習時における体温を測定し、体温の上昇程度と水分摂取の間に関連性があるかどうかについて調べました。体温の上昇が大きかったものほど多くの水分を摂取している傾向がみられました。このことは、水分を多く摂取したからといって体温の上昇を抑えることは難しいということを示唆していました。



エネルギー消費量の測定風景

体育研究室では、今後も運動・スポーツを運動生理学の視点から捉えて研究を続けていきます。